

製品&企業情報

取材報告 特集企画 出版物 学会ナビ&イベント

ヘルスケアEXPO

モダリティ・ナビ

検索

ホーム > 取材報告 > 新製品発表・学会などの通常取材 > 東京ケアウィーク2019 (4) ――ロボット編:利用者の親しみやすさと使い勝手の良さで業務効率化に貢献

東京ケアウィーク2019(4)――ロボット編:利用者の親しみやすさと使い勝手の良さで業務効率化に貢献

取材報告

エフ・アイ・ティー・パシフィック(株)が提供する介護業務効率化システム「monomill CARE」は、IoTプラットフォームをベースに、カメラやバイタルセンサー、人感センサー、ドアセンサーなどの各種センサーの情報を、一つの画面でまとめて表示し、状況を確認することができる。メーカーや種類を問わず、現在使用しているセンサーをそのまま使えるうえ、専用ソフトなどは不要で、標準装備のWebブラウザのみでPCやスマートフォンから同時に、どこからでも確認できるため、スモールスタートが可能となる。基幹システムは、テレビ局送信所の一元管理システムとして2005年から稼働しており、介護システムへの応用により、業務改善や負担軽減への寄与をめざす。



